

平成 25 年度 第 1 回福祉サービス運営委員会

平成 25 年度第 1 回福祉サービス運営委員会は、平成 25 年 10 月 31 日大分県福祉会本部会議室で開催された。委員会は、第三者委員・利用者家族委員・事業者代表委員の出席のもと協議が行われた。

別府厚生館（14 世帯 36 名）

1、要望・苦情

○利用者より

- ・部屋、深夜の洗濯機の騒音～常会で注意

2、ヒヤリハット

- ・深夜帰館～説諭 ・無断外泊 ・怪我 1 件 ・居室で火傷

うえの園（20 名） 清明あけぼの学園（7 名）

1、要望・苦情

○利用児者より

- ・親睦旅行で焼肉を ～バーベキュー店で食事会
- ・開園祭で実行委員に ～実行委員をお願い
- ・配膳時の職員数を増やして ～職員配置の再検討
- ・机の転倒防止を・浴槽の踏み段の高さ～改修
- ・不在中の居室に他の児童が入らないように ～ドアの施錠

2、ヒヤリハット

- ・階段で転倒～昇降時職員配置
- ・利用者間のトラブル（噛みつき）～接触時間帯に職員配置
- ・服薬ミス（帰省時に薬の渡し忘れ、飲ませ忘れ） ～チェック表及び薬セットの改善
- ・消毒液を舐める（病院受診 異常なし）～薬物管理の徹底

3、その他

- ・公用車による正門わきの石に接触、無理な交差点進入（後続の車が急ブレーキ）～安全運転の励行

森の木（38 名）

1、相談、要望、苦情

○聞き耳頭巾相談(7 件)

- ・学校に行きたくない（現在は登校）・黒板の字が見えにくい（一時保護児童）～児相連絡、メガネ作成

○保護者から

- ・子どもの成績が伸びない ～進路決定の支援
- ・深夜 2 時の連絡に対応しない ～深夜電話対応の確認

2、ヒヤリハット

- ・怪我（昼食準備中 2 歳幼児が椅子に顔をぶつける）

3、その他

- ・公用車運転中の軽微な自損事故(3 件)

滝尾保育園（139 名）

1、要望、苦情

○保護者より

- ・園児と手をつないだままでの机の運搬は危険 ～状況の説明

○近隣より

- ・運動会練習中の音楽の音に驚いた ～ 協力依頼の文書配布

2、ヒヤリハット SHEL 分析を行いリスクへの対応・評価を実施

- ・1・2歳児クラス嘔みつきやひっかき
- ・マット遊び中ロッカーの角に後頭部を怪我病院受診
- ・滑り台の途中から落下病院受診（異常なし）

3、その他

- ・保護者支援について～生活習慣・家庭問題等

明野しいのみ保育園（127名）

1、要望、苦情

○保護者から

- ・3歳児以上にも主食の提供を ～現状では対応できない旨を入園式で説明
- ・下痢症状園児の迎えについて（特別扱いはできないとの発言に対して）
～囑託医への確認と方針の説明

○近隣より

- ・保護者の送迎時の車のスピードについて ～園便りや掲示による呼びかけ

2、ヒヤリハット SHEL 分析（報告書→SHEL 分析→委員会での分析→回覧）

- ・怪我（鉄棒で遊んでいて起き上がろうとした際脇を切る）病院受診～鉄棒の周りに十分なスペースを
- ・食物アレルギー（5/15、6/5、～病院受診 9/14、9/26）昼食後及びおやつ後に赤い発疹症状
～①家庭・園相互に使用食材の記録交換、
②調理室にボードの設置（除去食の記載）及び朝のミーティング時にそのコピーを担任に渡し、相互確認
③使用食材を母親を通じて医師に提供し確認（アレルギー物質はなし）
④症状が出た際の水薬を預かる（医師の指示のもとで服用）

○協議から（利用者代表及び第三者委員から）

- ・業務関係の視察で屋内公園を見たが、放射能の関係で外で遊べない子供たちのための施設ということであったが、安全に配慮されたものであった。
- ・常日頃から熱心な指導、楽しい話題に感謝しているが、保護者が駐車場で長話をしているが子どもの安全のために呼びかけを
- ・これからインフルエンザ等の流行する時期でうがいや手洗いには十分に取り組んでいるが、体力作りのためにランニングなど取り入れてはどうか。
- ・母親が話しやすくなるように「お知らせ」などをすることが必要
- ・各施設とも職員が大変苦勞されていることが窺える。
- ・地域行事等に積極的に参加しており、今後も共にやっていきたい。
- ・一つ一つのことに丁寧に取り組んでいることがわかる。
- ・日曜日などはユニットごとに工夫した過ごし方をしている。
- ・利用者が減少している背景を分析し、取り組むことが必要。
- ・リスク対応が組織的に向上しており、ダブルチェック機能が働いている。
- ・食物アレルギーについては、20分から30分の間に症状が出てくる。子どもから目を離さずに観察する必要がある。緊急時には医師に連絡するとともに救急車の手配を。また、心肺蘇生術やAEDを確実にできるように訓練を重ねることが必要。

最後に、会長の「職員に対する激励の言葉をいただき大変ありがたく、今後とも各施設において分析能力をより向上させるべく取り組んでまいりたい。」との言葉で閉会した。